

チリ 早生リンゴは価格が良い

FreshPlaza 2023年4月25日

チリのリンゴ輸出業者らは輸送コストの低下を目にしており、これは生産者が必要とする利益をもたらす助けになるであろうが、投入コストの上昇をカバーするにはまだ足りない。チリの生産・輸出業者プライズ(Prize)社の副社長であるクリストバル・ロドリゲス氏は、「海上運賃の低下にもかかわらず、他の投入コストの増加をすべてカバーするには、さらに高い価格設定が必要である。果実の品質と状態は良さそうだ。品種別ではガラは色も味も良い。クリップスピンク/ピンクレディー(商標名)がこれを追っている。グラニースミスは果肉が固く(同品種の特徴)、状態は良好である」と語る。

チリ全体では1月にガラ品種でリンゴの収穫が始まったが、プライズ社では2月にガラの収穫が始まり、4月中旬にクリップスピンク/ピンクレディーの収穫が始まった。同社は、チリのオイギンス州からニュブレ州までの地域に果樹園を有している。同社の目標は、この2023年シーズンに、ガラ、グラニースミス、クリップスピンク/ピンクレディーで5千トン達成することである。

同氏は、「弊社はガラとグラニースミスを主に南米、中米、中東に輸出している。早い時期の需要は強く、チリでの出荷価格(FOB)は22~18ドルであり、誰もが新シーズンの生鮮リンゴを手に入れたいと考えている。クリップスピンク/ピンクレディーは主にヨーロッパ、英国及び米国に輸出されており、そこでの価格はより不透明である。価格はヨーロッパの在庫量に依存しているが、これまでのところあまり需要がない(ため在庫が積み上がっている)。彼らにはすぐに貯蔵リンゴの在庫を一掃して欲しいものだ」と説明する。

同氏はまた、成長できる市場と新しい市場は毎年変化していると言い、「毎年状況が異なるので語るのは難しいが、我々が見るところ消費量は横ばいか、むしろ減少している。周年供給を可能にする新しい貯蔵技術があり、地産地消の傾向も強い。弊社にとって中南米は早生品種の良い市場であり、シーズン中のその他の時期の出荷はさまざまな産地や貯蔵リンゴの状況に左右される。新しい市場に関しては、出荷の機会があり価格設定に競争力がある限り、弊社はそれに取組む」と述べた。

執筆者: クレイトン・スワート

米国カリフォルニア州 核果類の出荷も遅いスタート

FreshPlaza 2023年4月27日

この春にカリフォルニア州から出荷される多くの農作物と同様に、核果類の出荷も遅れており、スタートは来月になる。HMC農場のジョン・マクラーク氏は、「収穫は本当に遅れており、昨年よりも確実に2週間遅い。フレズノ郡の核果類地帯の中心部ですべて栽培しており、出荷の開始は5月中旬から下旬になる」と言う。

また、その結果、出荷シーズンの終了は1日か2日遅れるかもしれない。同氏は、「出荷シーズンが進むにつれて遅れは圧縮される」と言う。同氏はまた、業界の一部のモモは核果類シーズン遅くの10月後半まで出荷され、一部の生産者のスモモの出荷はそれよりさらに遅いと指摘する。

収穫量に関しては、昨年と同程度になりそうである。同氏は、「出始めは霜のためにやや少ないかも知れないが、それほど悪くはない。その後の作柄はかなり良さそうだ。果樹園はあの雨の後、とても素晴らしく見える。それはほとんど土を浄化するようなものだったので、果実の品質は非常に良いと思う」と話す。

販促は可能か

同氏は需要について、昨年業界が経験した需要の増加に今年はさらに上乗せされると見込まれるので良好だろうと予想し、「また核果類の出荷期間の一部では、もう少し販促に力を入れるだろう」と言う。

一方、昨年の強気の価格設定は必要であった。同氏は「我々は何年もの間、作物を栽培するのに必要な水準と一致しない価格設定を行ってきた。果樹は永年性作物であり、育てるには時間がかかる」と述べた。

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク